

平成25年度  野外彫刻鑑賞アートウォーキング
日本武尊由来の石座神社と鶴巻地区を歩く芸術鑑賞
～カメラスケッチ～

平成 25 年 11 月 30 日 (土) 開催

主催：秦野市

協力：秦野市観光ボランティアの会、彫刻愛し隊



【行 程】

参加者17名（一般公募参加者14名・彫刻愛し隊員3名）

弘法山ハイキングコースガイド：内田正夫（秦野市観光ボランティアの会会長）

時 間	内 容
10:00	鶴巻温泉駅北口改札前集合
10:15～ 10:30	鶴巻温泉駅周辺野外彫刻説明(2基) (宿借り「おかえりなさい」→飛翔)
10:45～ 11:05	石座神社
11:10～ 11:20	極楽寺
11:40～ 11:55	おおね公園内野外彫刻説明(3基) (MANAZASHI→みどりの星→天空の塔)
11:55～ 12:40	昼食(おおね公園内)
12:50～ 13:00	大ケヤキ
13:05～ 13:10	延命地蔵
13:15～ 13:30	宮永岳彦記念美術館見学
13:30	解散(希望者は弘法の里湯へ)

【カメラスケッチ】



鶴巻温泉駅周辺に設置されている野外彫刻(「宿借り おかえりなさい」と「飛翔」)を鑑賞



天候に恵まれ、素晴らしいウォーキング日和の中、日本武尊由来の石座神社に到着



極楽寺では、特別に秦野市重要文化財に指定された観音像を見学



おおね公園の野外彫刻3基(「MANAZASHI」と「みどりの星」と「天空の塔」)を鑑賞



秦野市観光ボランティアの会のガイドを受けながら鶴巻地区を巡る(大ケヤキ)



宮永岳彦記念美術館では、学芸員の説明に耳を傾けながら美人画を鑑賞

【野外彫刻の紹介】

《鶴巻温泉駅周辺》

「宿借り おかえりなさい」

制作者：西巻一彦

(にしまさ かずひこ)

取得経過：鶴巻温泉駅北口広場整備制作設置委託
設置：平成8年4月
素材：黒御影石、白御影石



鶴巻温泉は温泉街ですので、温泉利用者は宿を借りるということから、ヤドカリがデザインされています。鶴巻温泉駅北口広場の整備の際に制作を依頼したもので、駅前に設置されるということから、再び鶴巻温泉を訪れてきてくれた際に、「おかえりなさい」の心で出迎える気持ちが作品のタイトルに込められております。

「飛翔」

制作者：ティエリーヴィデ

取得経過：鶴巻温泉駅北口広場整備制作設置委託
設置：平成8年5月
素材：ステンレス



ティエリーヴィデは、フランスの彫刻家で、ステンレスに穴をあけるという現代的なスタイルを用いて、オブジェクトを明るく描いている作品を多く手掛けています。本作品は、鳥の飛行を抽象的に表現したものです。こちらの作品も、鶴巻温泉駅北口広場の整備の際に制作を依頼したものです。



《おおね公園》

「MANAZASHI」

制作者：大隈秀雄

(おおくま ひでお)

取得経過：スポーツとレクリエーションの彫刻展

設置：平成16年1月

素材：ステンレス、銅、真鍮、チタン、コールテン銅



人のしぐさをヒントに、あやふやなままが擬人化され、ユーモラスでぬくもりを感じさせる動きをする作品です。回転軸がそれぞれ4ヶ所あり、それぞれの角度とバランスによって、強風時にはショックを和らげ、微風時には軽やかに、刻々と変わる自然のうつろい、風や光、季節の流れを肌で感じながら、どう動くか、どう見えるかは、風まかせ。自然のリズムに身をまかせて動く作品をお楽しみください。

「みどりの星」

制作者：井上なぎさ

(いのうえ なぎさ)

取得経過：スポーツとレクリエーションの彫刻展

設置：平成16年1月

素材：銅、ステンレス



地球には何十億年前から、たくさんの生き物が棲んでいます。この生命の星の未来を想い、鶴巻の大ケヤキを『水と緑とたくさんの生き物が棲む地球』に見立て、このような彫刻として表現されています。

「天空の塔」

制作者：横山 徹

(よこやま とおる)

取得経過：スポーツとレクリエーションの彫刻展

設置：平成16年1月

素材：黒御影石



おおね公園は、レクリエーション等を通して、市民の健康を願って造られました。本作品の制作に当たっては、健康、すなわち生命のエネルギーそのものを、形体としてイメージできるものが考えられています。螺旋状に上昇するフォルムは、成長のシンボルであり、豊かな丹沢と天空を背景に調和のある空間を創り出したいとの製作者の願いが込められています。

【見学場所の紹介】

「石座神社」

吾妻山の麓にある神社です。この神社は名前の通り「石座（せきざ）」といわれる大きな自然石が御神体です。この石は日本武尊（やまとたけるのみこと）が東征の時に腰を掛け、休息をしたものと伝えられています。



「極楽寺」

極楽寺は、平塚市の天徳寺 10 世により 1607 年（慶長 12 年）に開かれ、1648 年（慶安元年）に徳川家光から寺領 7 石の朱印を受けました。このお寺には、1979 年（昭和 54 年）秦野市重要文化財に指定された十一面観音像が安置されています。



「大ケヤキ」

県下最大の大ケヤキの木で、県の天然記念物に指定されているほか、1984 年（昭和 59 年）度「かながわの名木 100 選」にも選ばれています。樹高 30m、周囲は 10m あり、樹齢推定 600 年以上の巨木です。



「延命地蔵」

この延命地蔵は約 250 年前に江戸の商人が米寿（88 歳の祝い）を記念し造立したものとされています。高さが 3.2m もある石造りの大きな地蔵です。現在でも長寿を願う地蔵として、地元の人々に信仰され続けています。毎年 1 月 23 日と 8 月 23 日の縁日には賑わいを見せています。



「宮永岳彦記念美術館」

秦野から勤務していた百貨店「松坂屋」で使われた宣伝ポスターや、雑誌・文庫本の装丁原画、華麗な女性美を描いた油彩画など約 70 点が展示されています。



宮永岳彦画伯は「光と影の華麗なる世界」と称される美人画で知られます。1946 年（昭和 21 年）から 15 年間、秦野市名古木のアトリエで創作活動を行いました。二紀会の設立に参加し、1979 年（昭和 54 年）に日本芸術院賞を受賞。1986 年（昭和 61 年）には二紀会理事長に就任しました。

**秦野市くらし安心部
市民自治振興課都市交流文化班**

電話番号：0463-82-5118（直通）

FAX：0463-82-6793